



かつやま

9 No.670 月号



「手助けするんだワン！」

9月2日に成器西小学校へ盲導犬がやってきました。訓練された盲導犬のあまりの賢さに、子どもたちも驚いた様子でした。

CONTENTS

- 勝ち山夏物語
- 特集 健康長寿
- 校區別座談会報告
- 平成22年度勝山市表彰式
- 平成22年9月9日発行

歴史の散歩道

(119)

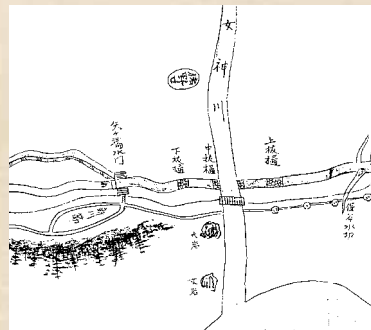
おながみ 女神川の土石流と大岩

勝山市が発行した『勝山市洪水・土砂災害ハザードマップ』は自然災害の脅威が身近なところにあることを教えてくれる。しかし、この地図は主に人家のあるところが中心であるので、九頭竜川沿いなどの危険箇所は図示されていない。

最近「深層崩壊」や「土石流」という用語が、新聞やテレビで報道され、自然災害への関心が高まっている。筆者は文化財として、「自然災害遺跡」というものを指定し、災害を啓蒙する必要があると思う。女神川では、享保十一年（一七二六）に「猪野口流れ」と呼ばれる大災害があり、その痕跡を今も見ることが出来る。

この災害があつてから、二十二年後の延享五年（寛延元年・一七四八）に「永代講」を結び、法延を催した。この時に著したものが『永代講由来記』で、災害の状況が書かれ、涙なくして読むことができない。

この記録は、一〇〇年後の百回忌に再び書写され、昭和五十年（一九七五）に『女神川大洪水猪野口村残難記』として著わされた。この残難記（残難とは、思



「大岩」「女岩」が描かれた勝山大用水図



「享保11年」の年号が彫られている「大岩」

いげけない災難にあつたことには、被災者の死者と法名、さらに「名号塚」を建て、この時の法要で拝読された「名号塚拝章」が掲載されている。また付図の「女神川災害図」は、生々しい惨状を伝える。山地崩壊が起こつたところと、その被害の範囲が書かれ、女神川が運んだ土石が九頭竜川の河床に堆積して、九頭竜川の流路が変わり、下荒井の集落も移転した。また、女神川を流れ下つた大きな岩が二個描かれている。大きい方が「大岩」、小さい方が「女岩」とあり、大岩の大きさは、手取川の百万貫石にはおよばないが、「高さ一丈四尺・廻り十四間（四メートル二〇センチ・二五メートル二〇センチ）」である。

文化財保護委員 佐野光臣

人口の動き

	7月末現在	自然動態			社会動態			8月末現在	月間増減
		出生	死亡	計	転入	転出	計		
男	12,599人	6	13	- 7	14	24	- 10	12,582人	- 17人
女	13,781人	5	12	- 7	16	19	- 3	13,771人	- 10人
合計	26,380人	11	25	- 14	30	43	- 13	26,353人	- 27人
世帯数	8,279世帯							8,269世帯	- 10世帯

編集後記
今年の夏は、日本全国で最高気温の記録が塗り替えられたり、猛暑日の連続日数記録がどんどん伸びたりしています。7・8月の平均気温も史上最高ということで、勝山市でも連日防災無線で熱中症予防を呼びかけました。そんな暑い夏の思い出として、勝ち山夏物語の様子を特集しました。大雨の中行われた「かちやまワッシュヨイ2010」やかちやま恐竜パレードの様子を写真でご覧ください。学校再編についての校區別座談会で、いただいたご意見や市の考え方もご紹介いたします。こちらぜひ、ご一読ください。

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成22年8月末	前年比
総件数	329件	+28
人身事故 (うち高齢者)	43件 (31)	+2 (+4)
死者 (うち高齢者)	2人 (1)	+1 (+1)
傷者	45人	0
物損事故	286件	+26

9月の納税

- 国民健康保険税▶2期
- 納期限▶9月30日(木)
- 口座振替▶9月27日(月)

広告

広告のお申し込みは
秘書・広報課まで